

令和2年度事業報告

『けやきの郷』拠点区分

就労継続支援B型事業所『けやきの郷』

相談支援事業所『サポートセンターけやき』

共同生活援助外部サービス利用型『グループホームヴィラ佐白』

地域生活支援事業（町委託事業）『けやき広場』

## 令和2年度 事業報告書

『けやきの郷』拠点区分

サービス区分

就労支援B型事業所『けやきの郷』

### 仁多福社会法人理念

(献身・貢献 規律・秩序 努力・向上 縁・感謝)

『けやきの郷』基本方針

- ①ノーマライゼーション理念に基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる就労支援（エンパワメント）
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）
- ④専門的技術・知識による支援

運営理念

- ①専門的技術・知識による支援とノーマライゼーションに基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる作業参加
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）による地域生活支援
- ④各機関との連携による支援

○施設利用者状況（定員 20 名）

令和 2 年度新規利用者 3 名

令和 3 年 3 月 31 日 現在登録数 33 名 男 23 名 女 10 名

○開所・利用状況

令和 2 年度 年間開所日数 240 日 1 カ月平均利用者人数 22.3 人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
人数	483	402	475	460	406	444	518
開所	21	18	22	21	18	20	22
一日平均	23	22.3	21.5	21.9	22.5	22.2	23.5

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
人数	443	427	390	397	512	5357
開所	19	20	18	18	23	240
一日平均	23.3	21.3	21.6	22	22.2	22.3

障害種別状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

身体 1 名 知的 12 名 精神 17 名 発達 3 名

年金受給者 有 31 名 無 2 名

○年齢構成（20 歳～79 歳）

歳	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49
男	1 名	2 名	2 名	2 名	1 名	1 名	3 名
女	0 名	2 名	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名

歳	50～54	55～59	60～64	65～69	70～	平均年齢
男	3 名	3 名	0 名	4 名	1 名	46.6
女	2 名	3 名	1 名	0 名	0 名	44.3

○主たる介護者状況（利用者の年代ごとの介護者状況）

本人の年齢	20代	30代	40代	50代	60代
両親	5名	4名	0名	1名	0名
母親	1名	0名	2名	4名	0名
父親	1名	0名	0名	0名	0名
姉	0名	0名	0名	2名	1名
兄	0名	0名	0名	0名	0名
義姉	0名	0名	0名	0名	1名
義妹	0名	0名	0名	1名	0名
既婚者	0名	0名	0名	2名	0名
グループホーム	1名	0名	2名	1名	4名

\*両親が介護者になっており、両親ともに75歳以上の利用者が2名、母親（片親）が介護者になっており、母親が75歳以上の利用者が3名在籍している。

○過去の作業活動（就労支援収入）と工賃総支給額（交通費支給額を含む）の推移

	作業活動（就労支援）収入	工賃総支給額
27年度	9,650,977円	6,584,645円
28年度	10,290,573円	6,398,848円
29年度	11,668,649円	6,794,942円
30年度	14,673,661円	7,361,767円
令和元年度	13,117,918円	7,212,008円
令和2年度	12,155,213円	5,693,889円

月平均工賃支給額

一人 14,378円

就労支援状況（短時間就労を含む）

平成30年度（1名） 令和元年度（1名） 令和2年度（1名）

バザー出店状況

新型コロナウイルス流行の為、すべて中止になる。

○福祉事業活動

施設関連行事

実施日	行事名	場所	活動内容
	交流スポーツ大会	グリーンヒル佐藤	新型コロナウイルス感染予防のため中止。
	ソフトバレー交流会	スポーツセンター	新型コロナウイルス感染予防のため中止。
	雲南スポーツ大会	アスパル	新型コロナウイルス感染予防のため中止。
6月1日	火災講習会	けやきの郷	消防官による在宅時の火災時対応についての講習を受ける。
7月3日	笹巻会食	けやきの郷	6/29・30で笹を取りに行き、巻いたものを午後の休憩にみんなで食べる。
8月11日	鰻弁当昼食会 (バス遠足の代替)	けやきの郷	新型コロナウイルス感染予防のため代替で昼食会(鰻、焼肉弁当)。
8月12日	環境整備	けやきの郷	盆前大掃除
12月1日	地震避難訓練	けやきの郷	地震時の避難訓練、起震車体験。
12月4日	忘年会	けやきの郷	弁当・ケーキバイキング食事会。
12月25日	大掃除	けやきの郷	新年を迎えるための大掃除。
3月19日	年度末お疲れ様会	けやきの郷	弁当昼食会。
<p>備考</p> <p>○見学・実習受入れ 特別支援学校出雲養護学校実習生・仁多中学校</p> <p>※今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、下記の受入れはすべて中止にする。</p> <p>○ボランティア受入れ つくしの会(月2～3)作業・行事参加を通して利用者との交流</p> <p>○健康教室 月1回(主に第三木曜)ストレッチ等健康に関する講義をリハビリ学院の金弦敬子先生にさせていただく。また、ボランティア(主に第二週)にも来ていただく。</p> <p>○にこにこの会との交流会 にこにこ運動会・にこにこ学習発表会</p>			

職員研修

開催日	研修	場所
7月1・2日	キャリアパス対応生涯研修	松江（いきいきプラザ）

○施設内会議

職員会議

開催月	主要内容
4月	今後の行事の取組み。コロナ感染予防対策。GH増設に伴う、整備事業。
5月	施設ホームページ。避難訓練。雲南スポーツ大会。新作パン検討
6月	コロナ感染予防対策。日帰り遠足
7月	多根自然博物館の清掃業務再開。食事会。盆前大掃除。作品展。 けやきの郷ホームページ。
8月	コロナ関連法案。新規事業。利用者ケース報告。実習生・体験実習。
9月	雲南分教室実習生・仁多中体験実習。利用者ケース報告。GHの今後。
10月	年内作業の確認。リハ学生作業見学。利用者ケース報告。
11月	利用者忘年会。避難訓練。利用者ケース報告。日中一時の冬季休暇
12月	利用者ケース報告。年度末慰労会。年末大掃除・年始の予定。地域生活支援事業。
1月	利用者ケース報告。法人互助会報告。法人ホームページ。GH運営。
2月	年度末慰労会。GH見学者。日中一時の春季休暇の予定。
3月	令和3年度事業計画・職員担当。けやきの郷新規利用者。老健カルテ整理業務。年度末慰労会の反省。

ケース会議

開催月	主要内容
4月	けやきの郷スポーツ大会。年度末慰労会反省。利用者ケース報告。
5月	生活部会、作業部会今年度計画。各利用者の生活・作業目標の様式検討。施設内研修。利用者ケース報告。
6月	生活・作業部会の報告。利用者ケース報告。コロナ感染予防対策。内部研修。
7月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。多根博物館清掃業務。GH増設と新規事業。ターミナル清掃業務。
8月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者のケース報告。研修報告。
9月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。
10月	各利用者の生活・作業目標の検討。避難訓練
11月	各利用者の生活・作業目標の検討。カレンダー。利用者忘年会。利用者ケース報告。
12月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。避難訓練反省。
1月	利用者ケース検討。年度末慰労会。GHの今後の体制。ホームページ作成と今後。
2月	利用者ケース報告。恩田文具作業依頼の検討。
3月	利用者ケース報告。年度末慰労会。

令和2年度相談支援事業サポートセンターけやき事業報告

平成25年度に開設した相談支援事業所を地域の中核として位置付け、その機能の一層の充実を図る。

【目的】

社会福祉法人仁多福祉会が開設するサポートセンターけやきにおいて実施する相談支援事業の指定・特定相談支援事業及び、障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、相談支援の円滑な運営管理を図ると共に、利用者、障害児及び障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な居宅介護の提供を確保する事を目的とする。

【人員配置】

- 施設管理責任者 1名 就労 B けやきの郷兼務
- 相談支援専門員 1名 専任
- 相談支援員 1名 就労 B けやきの郷兼務
- 相談支援員補助 1名 就労 B けやきの郷兼務

【相談件数】

延べ1, 256件

【相談支援を利用している障害者等の人数】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談支援を利用している障害者等の人数	障害者	実人員	17	13	13	17	20	17	15	15	21	18	17	20	203
		身体障害													0
		重症心身障害													0
		知的障害	5	6	5	5	7	5	5	5	7	5	5	4	64
		精神障害	12	7	7	10	11	11	9	9	13	13	12	14	128
		発達障害				1	1							1	3
		高次脳機能障害													0
		その他			1	1	1	1	1	1	1			1	8
	障害児	実人員	3	1	2	3	1	1	3	4	2	1	2	3	26
		身体障害												1	1
		重症心身障害													0
		知的障害							1	1	1		1	1	5
		精神障害													0
		発達障害	3	1	2	2			1	1	1	1			12
		高次脳機能障害													0
		その他				1	1	1	1	2			1	1	8
	計	実人員	20	14	15	20	21	18	18	19	23	19	19	23	229
		身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		知的障害	5	6	5	5	7	5	6	6	8	5	6	5	69
		精神障害	12	7	7	10	11	11	9	9	13	13	12	14	128
		発達障害	3	1	2	3	1	0	1	1	1	1	0	1	15
		高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1	2	2	2	2	3	1	0	1	2	16

## 【支援方法】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援方法	訪問	5	2	4	0	13	2	7	1	22	8	9	13	86
	来所相談	47	42	37	58	42	38	31	33	57	50	27	67	529
	同行	24	7	9	8	12	8	13	6	10	7	11	5	120
	電話相談	48	38	38	28	26	22	62	42	41	31	33	29	438
	電子メール	0	0	0	0	1	0	0	0	5	4	0	0	10
	個別支援会議	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	5
	関係機関	3	3	4	8	3	3	8	8	10	8	5	3	66
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	129	92	92	102	97	74	123	90	145	109	85	118	1,256

## 【支援内容】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	4	2	6	10	10	18	13	8	11	4	5	12	103
	障害や病状の理解に関する支援	0	2	0	3	0	2	3	0	5	0	1	0	16
	健康・医療に関する支援	37	18	25	23	35	14	29	39	34	43	36	47	380
	不安の解消・情緒安定に関する支援	15	21	28	42	30	18	43	33	35	42	39	55	401
	保育・教育に関する支援	5	1	4	3	0	1	15	1	0	0	1	5	36
	家族関係・人間関係に関する支援	17	17	21	34	24	17	32	32	34	25	24	16	293
	家計・経済に関する支援	17	4	2	2	5	2	20	5	19	1	2	9	88
	生活技術に関する支援	18	25	17	26	4	6	14	16	23	32	9	18	208
	就労に関する支援	16	25	22	21	23	19	22	3	16	12	8	6	193
	社会参加・余暇活動に関する支援	0	5	13	7	3	4	3	0	1	7	1	2	46
	権利擁護に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	8	2	0	1	1	0	4	17	3	2	3	44
	計	132	128	140	171	135	102	194	141	195	169	128	173	1,808

## 【地域生活支援】

障害者及び引きこもり等、特別な支援が必要な方に対する、保健・医療・教育・福祉連携による支援会議の開催

障害児及び特別な支援が必要な幼児・児童に対して、福祉サービスの利用に関する支援の実施  
 児童発達支援事業所や療育機関、保育所、学校、教育委員会、保健師等、関係機関との連携や情報共有の場としての個別支援会議の開催

## 【日中一時支援事業】

3名受け入れ 年間利用日数 206日

〈活動内容〉

小中学校放課後支援、小中学校長期休暇支援、作業参加、調理実習、社会体験（放課後児童クラブスマイルとの連携、公共交通機関の利用等）、日中の見守り支援

## 【障害支援区分認定調査】（施設利用に伴うもの・地域生活支援に伴うもの）

件数 9件 島根県内

## 【職員研修・地域関係機関との連携会議】

第1回精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議（アンケート調査、資料配布のみ）

雲南障がい者就業・生活支援センター連絡会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)  
雲南地区生活支援会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)  
県障害支援区分認定調査員研修 (新型コロナの影響で会議開催中止)  
奥出雲町家族会研修会 (不参加)  
雲南圏域医療的ケア児の在宅療養生活支援研修会 (新型コロナの影響で会議開催中止)  
雲南圏域精神障がい者地域移行・地域定着支援会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)  
第2回精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議 (アンケート調査、資料配布のみ)  
雲南圏域障害支援区分認定調査員研修 (新型コロナの影響で会議開催中止)  
相談支援事業所と市町村との連絡会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)

**【雲南圏域総合支援部会・地域部会】**

総合支援協議会運営委員会 (新型コロナの影響で会議開催中止)  
総合支援協議会総会 (新型コロナの影響で資料配布のみ)  
奥出雲町地域部会 年3回実施 (第6期奥出雲町障がい福祉計画策定委員会)  
就労支援専門部会 年2回実施  
相談支援部会打合せ会 3年3月1日  
相談支援部会 3年3月29日

相談支援事業所そよかぜ館主催

高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)

令和2年度  
共同生活援助（外部サービス利用型）「グループホームヴィラ佐白」  
事業報告書

令和2年度は新型コロナウイルス感染予防を徹底し、毎朝の検温、手指消毒等に取り組み利用者の方の生命を守ることに努めた。また、2年度はグループホームヴィラ佐白の増築を行い定員6名から10名の受け入れが可能となった。今年度は利用者の方の入退居はあったが、現在8名の入居となっている。短期利用者・体験利用者として2、3名の定期的な利用があった。

新規入居者・短期入居者・体験利用の対応及び全利用者への精神面・健康管理・生活のライフ作り・自立へ向けた支援への取り組みを行ってきた。また、利用者の方が安心・安全な環境作りと地域に根差したホームの生活作りに努めた。増築に伴い整備を進めた中で、障がい児・者のショートステイ・医療ケアを必要とする人達の受け入れ、多様化するニーズに対応していく事が重要であると考えている。

1 共同生活援助の目標

地域における居住の場としてグループホームの充実を図り、利用者が地域で安心して、その人らしく生活ができるよう支援を行った。

2 利用者定員と利用者状況

利用定員 10名（うち1名は緊急受け入れ）

利用状況（短期、体験利用者含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間利用日数
180	186	182	188	191	206	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	2405日
218	206	191	216	196	245	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間利用人数
6人	6人	6人	6人	6.1人	6.8人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	6.6人
7人	6.8人	6.1人	6.9人	7人	7.9人	

利用者状況

男性	5名
女性	3名

### 年齢構成

23歳	40歳	47歳	59歳	60歳	68歳	70歳
1名	1名	1名	1名	1名	1名	2名

### 3 サービスの提供

利用者すべての方に個別支援計画の作成を行い、個別支援計画に基づいて支援を行った。

### 4 支援内容

世話人等により服薬、日々の観察、疾病予防、健康管理に努め、状況に応じて通院同行、入院等に関する支援も行った。又、共同生活住居において、整容、身だしなみ、入浴、排せつ又は食事の支援、相談その他日常生活上の援助を適切かつ効果的に行った。個々のニーズに沿った日中活動の支援を行い余暇の充実にも努めた。

### 5 年間行事

新型コロナウイルスの影響もあり例年通りの行事の実施は出来なかったが、施設内での行事の実施や状況に応じて外出や地域との交流を図る行事を行ない利用者の方のストレス軽減、余暇の充実に努めた。

### 主な年間行事

月	施設行事	地域行事
4月	お花見ドライブ（12日）	
5月	お菓子作り（3日） DVD鑑賞（4日） お楽しみ会食（5日）	
7月	施設内会食（24日）	
8月	バーベキュー（8日） ドライブ、お弁当会食（15日）	
9月	行事会食（22日）	
11月	紅葉ドライブ（8日）	
12月	そば打ち体験（29日） 年末会食（31日）	
1月	お節会食・初詣（1日）	
2月	節分会食（3日）	
3月	施設内会食（3日）	

## 6 防災訓練

災害発生時に、迅速に利用者が安全な場所に避難誘導し、利用者の安全に務めるため年2回火災避難訓練等を実施した。

- ・令和2年6月24日
- ・令和2年10月17日

## 7 短期入所（令和元年6月1日開設）

運営の実績

### 1. 目的

居宅の生活が一時的に困難な状況な方・家族の負担軽減・宿泊体験等利用者の要望に基づき短期入所事業を実施した。

### 2. 定員

1名（空床がある場合）

月	利用者数	利用日数
7月	1名	2日
8月	1名	5日
9月	3名	36日
10月	2名	32日
11月	1名	26日
12月	1名	6日
3月	1名	8日
合計	10名	115日

### 3. その他

短期入居利用に限らず、日中において入浴サービス・余暇の充実等を必要とする人達の受け入れも行い、他の利用者とはふれあうことで生活意欲・自立意欲の向上への取り組みも行った。

## 8 職員の資質向上

### 1. 施設内研修の実施。

- ・外部研修の報告 令和2年10月

### 2. 外部研修

- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）令和2年9月16日、9月17日

### 2. 職員健康保持の為にストレスチェック等の実施。

### 3. 担当者関係者会議の定期的な開催。（必要に応じて）

### 4. 関係機関との支援会議の開催。（支援ケースに応じて）

## 令和2年度

### 地域生活支援事業

【目的】 町が実施する地域生活支援事業の一環として、障がい児者の社会参加の促進  
誰もが参加できる内容に取り組み、併せて地域との交流を促す

#### 【実施】

日付	事業名	内容	実施場所	人数	備考
7月28日～ 8月4日	表現自由な作品展	・特別支援学級作品展 ・施設利用者作品展	仁多庁舎タウンホール		先生や保護者の参加 一般のお客様にも立ち寄っていただいた 奥出雲各小中学校や町外の養護学校からも 作品を提供していただいた。出展数約90点
8月3日～ 8月25日	水と楽しむ一時	・シャボン玉大会 ・水遊び(水鉄砲・簡易プール)	放課後児童クラブスマイル	30	日中一時支援者と児童クラブを利用している 子供へ向けて計画をした所 子どもへ向けての事業企画した。子供たちも 積極的に行事に多数参加してくれた
9月18日	奥出雲の小さな映画上映会	・クレヨンしんちゃん	カルチャープラザスタジオ	10	親子連れ、子供の参加者が主に、映画に適した 場所での開催で落ち着いて鑑賞出来ていたと思 え落ちて鑑賞できたと思う
1月31日	ポッチャ体験交流会	・ポッチャ	町民体育館	26	高校生・専門学生8名でのボランティア参加 事業(利用者さんとのコミュニケーション) 進んで関わり。良い交流の機会になった
2月26日	次年度準備	【物品購入】 ポッチャ交流関係用具 作品展充実発展用具 コロナウィルス対策用具 子ども向け事業用具			

#### 反省・感想

- ・新型コロナウイルスの影響によって事業の縮小や回数の減少により  
計画的な事業展開が難しく予定通りには実施できない事もあった。
- ・作品展については、協力していただいた学校、事業所とも良い啓発になったと意見もあ  
地域とのつながりを感じられた事業であった。
- また、各小中学校にアンケートをとることによって、来年度の事業についての意見も聞けた。
- ・コロナの影響でプールへ行けなかったことをきっかけに、児童クラブを活用す  
子どもたちの夏休みの遊びの場所としてや児童クラブとの連携をすることもできた。
- ・ポッチャ交流会では、ボランティアが予定より多数になり、活動全体が賑やか
- ・小学校からの依頼があり授業の一環でポッチャ講習を行った。直接、事業とは関係ないが  
本事業を知っていた教育委員会の方から、学校側に依頼をしたのが、学校でポッチャを教える  
までの流れになった。

#### 次年度に向けての課題

- ・作品展は学校の生徒さんの作品を展示してる為、保護者の皆様にもゆ  
してもらうために、休日でも開場している場所での開催が望ましい。
- ・今回の小学校とのポッチャ事業を受け、学校との連携が  
地域生活支援事業の目的と活動に繋がるように感じたため、それに向かう事業の展開を  
発見し実行できるようにする。